



Introduction

「タイガース」「競馬」「ゴルフ」「芸能エンタメ」を中心に 総合スポーツ紙として幅広い支持を集めています

戦後間もない1948年に関西初、全国でも2番目のスポーツ紙として誕生した「デイリースポーツ」。創刊以来、阪神タイガース、競馬、ゴルフ、芸能エンタメを柱とする紙面で多くの読者に愛されてきました。タイガースは12球団屈指の観客動員数を誇る人気球団としてますます注目を集める存在であり、中央競馬はファンの関心が高いグレードレースを中心に世界一の売り上げを誇ります。男女とも若手選手の躍進が著しいゴルフは幅広い層から注目を集め、芸能エンタメ情報は女性からも根強い人気です。「トラ・馬・ゴルフ・芸能エンタメ」を得意とするデイリーは読者からの支持が高く、広告効果も大いに期待できます。

発行部数 **60万7,154部**

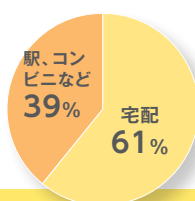
大阪版 **36万778部**

大阪	114,436	岡山	22,035
京都	30,029	広島	43,232
滋賀	5,509	島根	1,191
奈良	3,530	山口	2,210
和歌山	3,646	徳島	12,009
兵庫	81,127	香川	12,311
三重	136	愛媛	18,204
鳥取	1,036	高知	10,137

中四国のシェアNo.1

東京版 **24万6,376部**

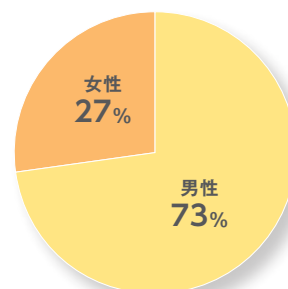
東京	110,008
神奈川	49,341
千葉	38,560
埼玉	32,755
茨城	4,711
群馬	3,848
栃木	2,389
静岡	4,766



発行部数の6割以上を
宅配が占めており、
読者数は安定しています。

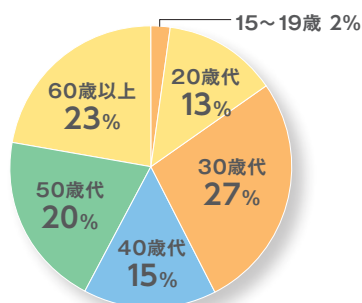
女性読者も急増中

スポーツ紙の読者は男性のイメージが強いですが、女性からもレジャーや芸能情報を中心に親しまれています。



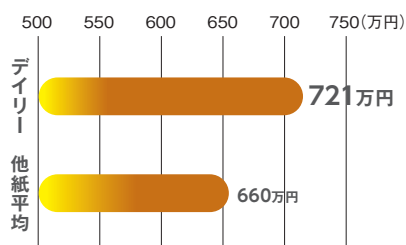
読者の主力は30～50歳代

購買力の高い30～50歳代が全体の約6割を占めます（男女合計）。特に30歳代男性の割合は他紙平均が13.4%に対し、デイリーは23.1%に上ります。



読者の平均世帯年収はトップ

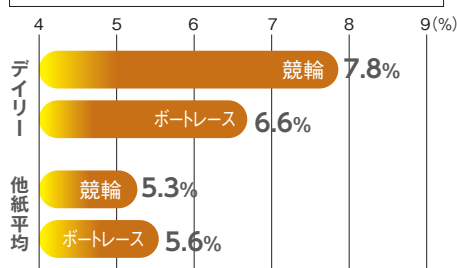
デイリーの読者の世帯平均年収はスポーツ紙の中でトップです。自動車やゴルフクラブ、海外旅行など高額商品の広告のレスポンスは高いです。



公営競技に強い！

競馬以外にも競輪やボートレースのファンからも愛読されています。

読者プロフィール調査
「1年間にいった趣味レジャー活動」



虎党からの圧倒的な支持率

タイガースが勝った翌日は売り上げアップ!

阪神と言えばデイリー デイリーと言えば阪神

1面にタイガースネタを最優先するデイリーの姿勢には関東圏でもファンが多く、タイガースがペナントレースで好調な時には編集局が全国ネットで放映されることもしばしばです。2003年に18年ぶりのリーグ優勝を果たしてからは、その人気はとどまることを知らず、タイガースが勝利した翌日は売り上げも伸び、チームの躍進と相まってデイリーの読者は増え続けています。

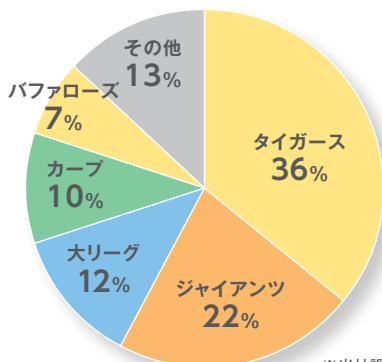
▶ AD Guide

デイリーでは優勝時の号外はもちろん、2014年は日本シリーズ進出決定、2017年には鳥谷敬選手の2000本安打達成を記念して特別版タブロイドを発行しました。号外や特別版は読者の注目度が高く、広告の訴求効果も抜群です。



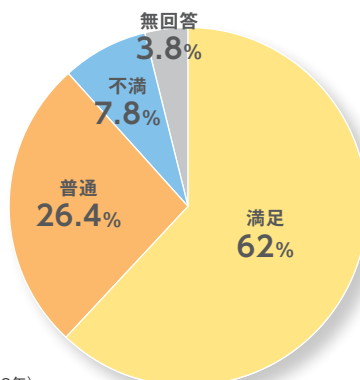
◀ 記事下広告例 (SSK)

よく読む球団記事



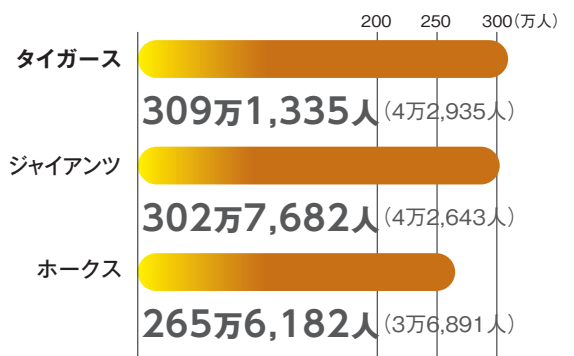
※当社調べ (2012年)

タイガース記事の満足度



球団別観客動員数ベスト3 (2019年)

※カッコ内は1試合平均の観客数



※NPBより

カープネタをバッチリ伝えて 鯉党のハートをガッチリつかみます



カープを中心に広島エリアの話題はデイリーにおまかせ

タイガースのイメージが強いデイリーですが、カープファンからも熱い支持を受けています。広島、山口、島根（一部）の3県で発行している「広島版」は、地元のプロ球団、広島東洋カープとサンフレッチェ広島から、公営競技、アマチュアスポーツまで幅広くピックアップ。カープ番記者による「広島特報バン!!」は人気を集めています。広島エリアに密着したスポーツ紙として、地元企業やイベントなどの広告も高い反響を呼んでいます。

▶ AD Guide

リーグ三連覇を成し遂げた2018年までの3年間、それぞれ優勝号外とタブロイド版優勝特集号を発行。地元企業などの広告を掲載しました。2016年に引退した黒田博樹投手、2018年に引退した新井貴浩選手の記念特集号も発行しました。



全36レースのデータを満載 競馬ファンの馬券予想に心強い味方

デイリースポーツ特別版

「馬サブロー」

圧倒的な情報量で レースを多角的に分析

1999年の創刊以来、競馬ファンはもちろん、業界関係者からも高い支持を集めている競馬新聞「馬サブロー」。JRAが1日に開催する最大36レース（3競馬場で各12レース）の馬柱（出走表）を掲載しているのが、紙名の由来です（土曜版は前日発売レースも掲載）。他紙を凌駕する情報量はさることながら、予想の参考になるデータコーナーやファン必読のコラムも充実。愛読者は着実に増えています。

発行エリア

JR、私鉄ターミナル駅、首都圏のコンビニエンスストアなど。東京23区は日経新聞販売店から宅配もしています。

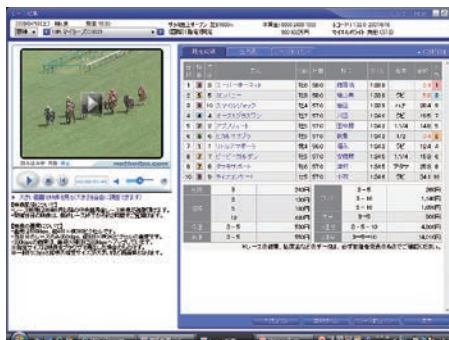


エリア別発行部数 2020年4月現在

東	京	30,580	埼	玉	9,176	栃	木	2,477	中山競馬場	200	計	73,868
神	奈	川	茨	城	3,987	山	梨	1281	ウインズ新白河	10		
千	葉	9,408	群	馬	2,938	東京競馬場	250	福島競馬場	20			

ネット版馬サブロー

競馬場やウインズだけでなく、IPAT（パソコン、ケータイ）で馬券を購入する“書斎派”のファンが増えています。「ネット版馬サブロー」は本紙掲載の予想や調教、厩舎コメントがチェックでき、オッズやパドック速報、レース結果をリアルタイムで更新。IPATと連動した馬券購入機能を搭載しているので、発走時間の間近まで十分に買い目を検討できます。



▶AD Guide

一口馬主クラブや予想サイトなどファンの関心が高い広告の出稿が目立っています。



全面広告例（シルクホースクラブ）▲

デイリーが誇る評論家陣は 紙面広告やイベントでも大活躍！

多彩な顔ぶれは 広告やイベントでも “いい味”出しています

デイリーの評論家は百戦錬磨のつわものぞろい。彼らが担当するコラムはプロ野球、公営競技、相撲、サッカーなど多岐にわたります。辛口な批評、奇抜な視点はコアなファンをうならせ、デイリーの人気を支えています。評論家陣は紙面タイアップ広告や、デイリーが主催・後援・協賛するイベントにも登場します。

デイリー
評論家陣
(敬称略)



糸井嘉男
元プロ野球選手



藤田平
元プロ野球選手・監督



金本知憲
元プロ野球選手・監督



福原忍
元プロ野球選手



中田良弘
元プロ野球選手



井川慶
元プロ野球選手



狩野恵輔
元プロ野球選手



谷佳知
元プロ野球選手



岡義朗
元プロ野球選手



佐藤義則
元プロ野球選手



安仁屋宗八
元プロ野球選手



福西崇史
元サッカー日本代表



武蔵丸光洋
第67代横綱



尾形充弘
元調教師



三宅伸
元競輪選手



本田晴美
元競輪選手

紙面タイアップ広告例

▶ワーナー・ブラザース

L.A.ギャングストーリーの作品を「浜村淳の話のロードショー特別編」として浜村淳氏が解説。記事下に上映劇場の告知を入れることで広告効果を高めました。



紙面広告とイベントの連動例

▶虎CLUBファンイベント

岡田彰布氏・井川慶氏をゲストに虎ファン交流イベントを開催。トークショーやプレゼント抽選会などで大いに盛り上がりしました。



ターゲットに合わせて七変化する デイリーのアドはインパクト抜群

多彩なスタイルで読者に“ビビッ”と伝えます

読者層が幅広いデイリーは広告効果も抜群。アイキャッチの効果が高い「編集紙面タイアップ広告」や「変形広告」、新聞本体から抜き出しやすい「セクション版」、たっぷりの情報を読みやすい文章で紹介する「記事体広告」、旬の話題に合わせた内容で注目を集める「企画広告」、複数面を使ってPR展開する「マルチ広告」、本紙を丸ごと広告で覆う「ラッピング広告」、幅広い年齢層に告知できる「号外広告」などなど。カラー紙面もフル活用し、自由な発想、大胆なデザインで広告主のニーズにお応えします。



毎日放送

チャンネル銀河

JT



裏側



夏休み子ども新聞
(美作県民局ほか)

表側



▶ 編集紙面タイアップ広告

記事とのタイアップによって訴求効果を高めます。鮮明なカラー写真を生かした美しいビジュアルが商品やサービスを強く印象付けます。全ページから二連版、記事下7段、5段、3段などバリエーションに富んだ広告枠をご用意します。

▶ セクション版

タブロイド判（4ページ）とブランケット判（表裏）の2種類あります。新聞本体からさっと抜き出すことができ、広告を保存してもらいやすいというメリットがあります。両タイプともカラー印刷が可能です。



アサヒビール

サンセイR&D

フィリップ・モリス

▶ 変形広告

縦、横、丸、写真に合わせた切り抜きなど柔軟に対応します。自由自在に形を変えることで効果的なアイキャッチを実現します。

観光特集
(FDAほか)



▶ 記事体広告

編集とタイアップした広告で、丁寧な文体は商品の解説に最適。意匠広告との連動による相乗効果も期待できます。低段数から高段数までさまざまなスペースをご用意できます。

アイデアを凝らした紙面展開で 読者の興味、関心を刺激します

▶ 企画広告

タイムリーな話題を扱う企画広告は読者の注目度ナンバーワン。全ページから二連版、連合広告や低段数まで、さまざまなスペースをご用意します。



大口酒造

▶ 特集号への広告展開

人気歌手コンサートのタイミングで発売された特集号。話題アーティスト特集号への広告出稿は訴求効果抜群です。



氷川きよし



水樹奈々

▶ ラッピング広告

「今日の1面はタイガースじゃないの?」とページをめくると「あれ、また1面?」。これが新聞本体の外側を覆う4ページのラッピング広告。読者の目を引く効果はダントツです。



四国アイランドリーグplus

▶ 号外広告

キャンペーン期間中やイベント時などに無料で配布。読者のみならず幅広い年齢層に行き渡り、記事体による説得力の高さが魅力です。記事下にも内容に関連した広告を入れることで効果はさらにアップします。

裏側



天王寺MIO

表側



▶ マルチ広告

複数面の広告から全広告スペースのジャックまでフレキシブルに対応。迫力あるビジュアルで訴求力もバッチリです。



静岡競輪



多彩なイベントを通して スポーツや文化の振興に貢献します

ファン注目のビッグイベントから地域の大会まで幅広く

デイリーでは年間に100以上ものスポーツイベントや文化事業を主催・後援・協賛しています。スポーツファン必見のビッグイベントから、アマ向けのゴルフトーナメント、少年野球大会、釣り大会まで内容は幅広く、それらを通してスポーツの振興や社会貢献、読者とのコミュニケーションの促進を図っています。

主なイベント・事業

○ホワイトベア スポーツ賞（主催）

アマチュアスポーツの発展と興隆に貢献することを目的に1961年に制定。優秀な個人・団体を表彰し、栄誉をたたえます。

○デイリー杯2歳ステークス（後援）

JRAの2歳馬限定のGII競走。翌年のクラシック戦線を占う重要な一戦です。

○デイリー杯クイーンカップ（後援）

JRAの3歳牝馬限定のGIII競走。GI桜花賞、オークスにつながる重要なステップレースです。

○兵庫県オープンゴルフレディース（主催）

多くのトッププロやトップアマが参戦する関西屈指の女子プロアマトーナメント。

○年齢別アマチュアゴルフ選手権（主催）

青年壮年、シニア、グランドシニアの3部門に分かれ、同世代で競い合うユニークなスクラッチ競技です。

○秋の大ゴルフコンペ（主催）

関西、中四国の30を超えるゴルフ場で同時開催するアンダーハンディ競技。参加者の氏名とスコアを紙面に掲載します。

○西日本学生バスケットボール選手権（主催）

東は愛知から西は沖縄まで、約200の大学が参加します。

○関西団地軟式少年野球選手権（主催）

関西各地区から約50チームが参戦。毎年5月に開幕します。

○デイリービューティーフォトコンテスト（主催）

モデルにユニチカ・マスコットガールなどを招いての撮影会。優秀作品は紙面で紹介します。

○デイリースポーツ

青少年将棋選手権大会（主催）

日本将棋連盟の後援で、初心者、小・中・高校の4部門で競います。連盟棋士の指導対局も。

○デイリースポーツ

大関杯新春将棋大会（主催）

大関株が特別協賛の大会。棋力に応じ細かくクラス分けし、子供から大人まで幅広く参加できます。

○阪神タイガース激励パーティー（主催）

現役選手をゲストに迎え、トークショーやプレゼント抽選会などを行います。

▶ AD Guide

主催・後援事業のタイアップ広告。事業を紹介する「記事体広告」+記事下の「意匠広告」、全ページの「編集タイアップ広告」など柔軟に対応します。



デイリービューティーフォトコンテスト



秋の大ゴルフコンペ

兵庫県オープンゴルフレディース

Profile

デイリースポーツのあゆみ

1948 (昭和23年)	創刊	1996 (平成8年)	神戸本社(現神戸編集)新社屋(神戸市中央区)竣工
1958 (昭和33年)	創刊10周年記念 「輝く世界記録賞」制定	1998 (平成10年)	創刊50周年 阪神製作センター(西宮市)竣工
1961 (昭和36年)	紙齢6,000号記念 「ホワイトベア スポーツ賞」制定	2001 (平成13年)	広島現地印刷スタート
1968 (昭和43年)	創刊20周年記念 「日本プロゴルフオールスタートーナメント」開催	2010 (平成22年)	神戸新聞社がデイリースポーツ社を合併、神戸新聞社デイリースポーツ事業本部となる
1978 (昭和53年)	創刊30周年記念 「ビッグゴルフイベント」開催	2012 (平成24年)	中四国デイリースポーツを社名変更し、 神戸新聞社から分社化したデイリースポーツ発足
1988 (昭和63年)	創刊40周年記念 愛媛現地印刷スタート	2018 (平成30年)	創刊70周年
1990 (平成2年)	製作センター(神戸市西区)竣工		

デイリースポーツ

神戸本社

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
☎078-362-7293

大阪

〒550-8570 大阪市西区江戸堀1-10-8
●広告 ☎06-6447-1825
☎06-6443-4000

東京本部

〒135-8566 東京都江東区木場2-14-8
●広告 ☎03-5646-5710
☎03-3641-5408

中国本部

〒730-0021 広島市中区胡町3-19
☎082-244-1769

四国本部

〒760-0026 高松市磨屋町2-8
☎087-822-1111

デイリースポーツ・クオリティ

レース報道本部

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
☎078-362-7693 ☎078-362-7699

美浦支局

〒300-0414 茨城県稲敷郡美浦村信太673-7
☎0298-40-4183

栗東支局

〒520-3014 滋賀県栗東市川辺562-2
☎077-551-0886